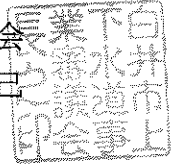


白上下審第1号
令和3年2月15日

白井市長 笠井 喜久雄 様

白井市上下水道事業審議会
会長・佐藤 克己



白井市上下水道事業経営戦略の策定について（答申）

令和3年1月29日付け白水第282号、白下第172号で諮問のありましたことについては、下記のとおり答申します。

記

本審議会では諮問のありました白井市上下水道事業経営戦略の策定について、上下水道事業の経営状況、事業計画及び課題等を分析し慎重に審議しました。

白井市水道事業においては、維持管理費等の経費の増加や、法定耐用年数を迎える水道施設の管路更新計画を策定し計画的な施設の更新による事業費の増加が見込まれることから、計画的な経営を行うことにより、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的に供給していくことが強く求められています。

また、白井市下水道事業においては、令和2年4月1日から公営企業へ移行し、公営企業として独立採算制が求められ、また有収水量の減少に伴う下水道使用料の減少により経営環境が厳しくなる中、公共用水域の水質を保全するため下水道施設の適切な維持管理や、多発するゲリラ豪雨等による浸水被害に対応するため雨水施設の整備も求められています。

そのような中、「白井市上下水道事業経営戦略」は、それぞれ必要な事業の着実な実施とそのための財源確保において収支の均衡を図り、今後10年間にわたって健全な経営を維持するための「投資・財政計画」が具体的に示されており、経営戦略として妥当な内容のものと認められます。

なお、今後、経営戦略を推進していくにあたり、各事業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応して3年から5年程度の間で定期的に事業を評価し、見直しを図るなど、効率的な事業運営を目指し、更なる経営努力に取り組まれるよう要望いたします。

